

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41400 救急医療対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画			
			目	4	地域医療対策費					
担当課	市民保健部 医療課	内線	2802							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が休日夜間に急病になった時に受診できる医療体制を整え、安心して暮らせるようにする。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日診療所の開設(日・祝・年末年始、医科及び歯科)</li> <li>在宅当番医制・病院群輪番制病院(久美愛厚生病院、飛騨市民病院)への運営費の補助</li> <li>救命救急センター(高山赤十字病院)への運営費等の助成</li> <li>24時間電話医療相談の実施や救急早見表の配布などによる適正な救急医療受診の啓発</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%	55.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		101,817	98,024	99,781	100,025	99,771	1,747
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(休日診療所使用料、保健衛生費受託事業収入等)	35,274	27,559	35,732	35,732	32,251	4,692
一般財源		66,543	70,465	64,049	64,293	67,520	△ 2,945
個票枝番	主な事業内容						
	休日診療所の運営	16,700	14,190	15,330	16,022	16,068	1,878
	24時間電話医療相談	3,000	1,782	2,340	1,892	1,619	△ 163
	在宅当番医制・病院群輪番制病院運営費助成	41,977	41,977	41,977	41,977	41,977	0
	救命救急センター運営費等助成	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	0
	救急安心センター運営負担金						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		102,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
102,676	100,028	100,028	247	
34,060	35,083	35,083	△ 649	
68,616	64,945	64,945	896	
査定額	説明			
15,290				
1,620				
42,149				
40,000				
835				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日診療所開設状況 医科(69日開設) 利用者数:436人 歯科(52日開設) 利用者数:108人</li> <li>救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成</li> <li>24時間電話医療相談の相談利用数(入電数) 933本</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>発熱者専用の診察室の準備や、その動線を分ける等の対策の継続により、休日診療所における安心・安全な診療体制を確保できた。</li> <li>24時間電話医療相談事業の継続により、市民の健康不安の解消を支援し、救急医療の適正利用の普及啓発を図ることができた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染動向を注視しながら、市民が安心して受診できるよう、休日診療所の適切な感染予防対策を継続する。</li> <li>救急医療施設の運営支援については、長引く感染対策による影響や、国や県からの支援状況も整理し、実態に応じた支援を行う。</li> </ul>	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日診療所開設状況 医科(71日開設) 利用者数:588人 このうち、発熱外来(11日開設) 利用者数:332人 歯科(52日開設) 利用者数:90人</li> <li>救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成</li> <li>24時間電話医療相談の相談利用数(入電数) 1,260本</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、休日診療所において発熱外来を開設して休日の検査や診療に対応した。これにより、市内中核病院の救急外来に集中する発熱者への対応負担について、その軽減を図ることができた。</li> <li>24時間電話医療相談事業の継続により、市民の健康不安の解消を支援し、救急医療の適正利用の普及啓発を図ることができた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染症予防法上の扱いが5類に移行され、社会全体の感染予防意識の低下から再拡大の恐れもある。感染動向を注視しながら、市民が安心して受診できるよう休日診療所の必要な感染予防対策を維持する。</li> <li>救急利用に特化した新たな電話相談システム「救急安心センター」の利用が令和5年度中に開始されることから、その利用啓発に努め、救急医療の適正利用の更なる普及を図る。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	市民が安心して受診できる救急医療体制の構築に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の流行期における休日診療所の体制は別途検討することとし、予算化を見送り</li> </ul>
-------------------	---

市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに
--------------	------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 福祉・医療分野への情報通信技術・AIの導入を促します
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	保健衛生費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画				
			目	4	地域医療対策費						
担当課	市民保健部 医療課	内線	2802								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が良質で適正な医療サービスを受けることができるよう医療体制の確保と充実を図る。	概要	・市内中核病院の医学生から専門医等までに対する切れ目のない支援、就労・医療環境の整備、診療機能の維持等に対する助成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%	55.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		226,840	182,296	178,980	248,488	236,297	54,001
特定財源	国費(医療機関等運営支援事業費 10/10)					20,600	20,600
	県費(地域医療確保事業費補助金 1/2)	6,215	3,845	6,435	6,435	5,501	1,656
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		220,625	178,451	172,545	242,053	210,196	31,745
個票枝番	主な事業内容						
	医学生実習事業補助金・臨床研修支援事業補助金	14,600	14,440	17,600	17,600	18,600	4,160
	医師確保支援事業補助金・病院設備整備費補助金・院内保育事業運営等補助金	181,330	146,193	127,200	159,752	154,721	8,528
	放射線治療の教育研究に対する助成・三次周産期医療機関の医師確保に対する助成	17,700	15,420	17,700	17,700	16,595	1,175
	岐阜大学医学部「地域医療コース」修学に対する支援	6,000	4,200	9,600	9,600	6,000	1,800
	医学生を対象としたガイダンスへの参加	3,700	644	4,140	4,140	2,463	1,819
	初期体験実習支援事業補助金・専攻医研修支援事業補助金・指導医業務支援事業補助金						
	医療機関等光熱費高騰対策支援金				37,200	36,003	36,003

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		179,400	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
196,174	189,530	190,030	11,050				
6,246	6,335	6,335	△ 100				
		4,000	4,000				
189,928	183,195	179,695	7,150				
査定額	説明						
20,350							
127,200							
17,700							
10,800							
4,070							
7,400							

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後より多くの学生への利用促進を図る。 ・長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、研修医確保を目的としたガイダンスへの出展は昨年度に引き続き実施できなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後より多くの学生への利用促進を図る。 ・長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、研修医確保を目的としたガイダンスへの出展は昨年度に引き続き実施できなかった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。 ・新型コロナウイルス感染症の感染動向を注視し、リモート等実施方法を工夫しながら医師確保対策事業を展開する。	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・岐阜大学医学部「地域医療コース」在校生4名、新入生2名の修学資金を支援 ・医療人材の育成を目的に、岐阜大学医学部と覚書、徳島大学医学部と連携協定を締結 ・コロナ禍における原油価格、電気料金の高騰により施設の運営に影響を受ける医療機関等の負担を軽減し、良質なサービスを継続できるよう、光熱費の高騰分について支援(142施設)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後もより多くの学生への利用促進を図る。 ・研修医確保を目的とした2会場のガイダンスへ、市内2か所の中核病院と連携して出展できた。 ・医療機関の光熱費高騰支援により、負担の軽減と運営の安定が図られ、市内の医療提供体制を維持することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。 ・大学医学部と締結した協定等に基づき、市内医療機関をフィールドとした医学生の実習やセミナーの開催を支援し、将来の定着を目指した人材育成を開始する。	

担当課 予算要求 ポイント	・医師等の育成・確保のための環境整備等、各種施策に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・医師確保支援事業補助金及び病院設備整備費補助金については従前のおりとする
-------------------	---

市長査定 の考え方	・岐阜大学医学部に対する初期体験実習支援事業補助金について必要な経費を計上
--------------	---------------------------------------